



読みました？

2016年文学賞受賞作

今年、押さえておきたい注目の主要文学賞受賞作品です。もうお読みになりましたか？
話題の本は是非、チェックしておいてください。
2016年度のノーベル文学賞にはボブ・ディラン氏が選ばれ話題になりました。市立図書館ではCDをはじめ、自伝やその他ボブ・ディラン氏に関する本を展示中です。

文学賞	作品名	文学賞	作品名
吉川英治文学賞	『東京零年』 赤川次郎	芥川龍之介賞	『死んでいない者』 滝口悠生
吉川英治文学新人賞	『A ではない君と』 薬丸 岳		『異類婚姻譚』 本谷有希子
吉川英治文庫賞	『しゃばけシリーズ』 富中 恵		『コンビニ人間』 村田沙耶香
日本医療小説大賞	『長いお別れ』 中島京子	直木三十五賞	『つまをめとらば』 青山文平
本屋大賞	『羊と鋼の森』 宮下奈都		『海の見える理髪店』 荻原 浩
松本清張賞	『待ってよ』 蜂須賀敬明	谷崎潤一郎賞	『薄情』 絲山秋子
川端康成文学賞	『生鮮てるてる坊主』 山田詠美		『三の隣は五号室』 長嶋 有
河合隼雄物語賞	『悪声』 いしいしんじ	柴田錬三郎賞	『赤へ』 井上荒野
三島由紀夫賞	『伯爵夫人』 蓮實重彦	泉鏡花文学賞	『大きな鳥にさわられないよう』 川上弘美
山本周五郎賞	『ユートピア』 湊かなえ	日本推理作家協会賞	『孤狼の血』 柚月裕子
江戸川乱歩賞	『QJKJQ』 佐藤 究		『マジカル・ヒストリー・ツアー —ミステリと美術で読む近代』 門井慶喜

一般展示

『読書の秋』・・・だって図書館ですもの！

秋も深まってきました。

〇〇の秋・・・ここはやはり読書の秋！

図書館としてはこれは譲れません！

今回は「百年文庫」を展示します。

世界中の文豪の短編を3話で一冊にしたもので、100巻完結で揃っています。

文字も大きく、とても読みやすいので、

この機会にぜひ手に取ってみてください。

参考展示

『地図を読む』

～地図を読み解くと新しい発見がある～

最近では、江戸時代の古地図と比べながらの街歩きも人気です。地図の製作過程から読み方、地図の発展の歴史に関わる出来事など奥深い「地図の世界」をお楽しみください。

市立図書館・今月の行事

- 11/3(木) ・おはなしの国たんぼぽ
午前 11 時～ 対象：1 歳～4 歳
- 11/12(土) ・英語おはなし会
午前 11 時～ 対象：0 歳～小学生
- ・第2回 吉川市図書館を使った
調べる学習コンクール表彰式
午前 11 時～
場所：おあしす 1 階ミーティングルーム4
- ・図書館ツアー
午後 2 時～3 時 場所：吉川市立図書館
対象・定員：一般 5 名（先着順）
- 11/18(金) ・赤ちゃんおはなし会
午前 11 時～ 対象：3 か月～1 歳
- 11/26(土) ・おはなしの国ひまわり
午前 11 時～ 対象：4 歳～小学生
- 11/27(日) ・シネマde ライブラリー
「スティング」(130 分) 字幕版
午後 2 時～4 時 10 分
場所：おあしす 1 階多目的ホール
対象・定員：一般 100 名（先着順）

視聴覚ライブラリー

『武居図書館長が選ぶ、秋の読書100選』

吉川市立図書館の館長は、物静かで穏やかな人です。しかしひとたび、ギターを持たせると・・・

本と音楽と映画とテレビドラマをこよなく愛す武居館長が読書の秋に合わせ100冊を選びました。

『武居図書館長が選ぶ、秋の読書100選』ぜひ参考にしてください。

※そんな館長が司会を務める

『読書サロン』～お茶を飲みながら～

11月13日(日) 14:00～16:00まで

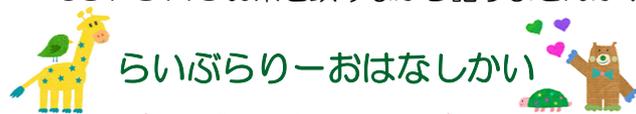
井上荒野『切羽へ』

場所：視聴覚ライブラリー4階多目的室

定員：10名

申込みは電話または直接視聴覚ライブラリーへ

☎ 981-8113 お茶を飲みながら語りませんか？



らいぶらりーおはなしかい

11月16日(水) 午前11時～ 申込み不要

中央公民館図書館

『掘り出し本』

～普段手にとらない本との出会い～

面白い本なのに棚に埋もれていた本、いつか読もうと思っていた本、青春時代涙した本などバラエティ豊かに展示しています。読んでみると思わぬ掘り出し本だった！！なんて可能性があるかも！あなたの「宝」になる一冊が見つかるといいですね。

☆ 森のおはなし会 ☆

11月6日(日)

11時～11時30分



★申込みは不要です。

旭地区センター図書館

『血圧と血液』

先月より引き続き『血圧と血液』の展示をしています。またスタッフおすすめ本として『季節外れの超常現象』を特集します。UFOやUMAなどあなたは信じますか？スタッフ高橋の出勤時には、超能力風な手品を実演しますので是非お声掛けを！

【児童書】
から
この1冊！

図書館の本は「日本十進分類法(NDC)」という本の分類法に基づいて、内容により0類から9類まで全部で10のグループに分類されています。各分類の「この1冊！」をピックアップします。今回は番外編、児童書の分野です。

『「エルマーのぼうけん」をかいた女性ルース・S・ガネット』K930カ

前沢 明枝/著 福音館書店

「エルマーのぼうけん」を知っていますか？子どものころ読んだという方も多いでしょう。でも、作者については、意外と知られていないのではないのでしょうか。アメリカで出版されてから67年がたった今も、世界で読まれている「エルマーのぼうけん」。その物語がどのようにして生まれたのか、作者であるガネットさんのインタビューをもとにおはなしが始まります。大人も子どもも楽しめる一冊です。



今月の新刊 の中からおすすめを紹介！

一般書



『使用人たちが見たホワイトハウス』～世界一有名な「家」の知られざる裏側～

ケイト・アンダーセン・ブラウワー/著 江口 泰子/訳 光文社 317.95/7

ホワイトハウスの中はどうなっている？大統領一家と使用人たちの強固な信頼関係の秘密とは？執事、ドアマン、シェフ…。ケネディ～オバマのアメリカ歴代大統領に仕えた数多くのスタッフが、ホワイトハウスの真の姿を語ります。

児童書



『ドライバーマイルズ』 ジョン・バーニンガム/作 谷川 俊太郎/訳 BL出版 Eト

いつも飼い主を困らせてばかりいる、やっかいな犬、マイルズ。マイルズが一番好きなのは、車に乗って出かけること。そこで、隣に住むハディさんが作ってくれたのは…。のびやかでユーモラスな絵本です。